

Together.



増築棟完成の
解説動画はこちら



増築棟完成

下関リハビリテーション病院 増築棟の新設備
安心と快適性を追求した新たな入浴環境をご紹介します

下関リハビリテーション病院では、2026年4月に増築棟が完成し、新たな設備環境の整備を進めています。今回の増築では、患者さんがより安心・快適に療養生活を送っていただけるよう、特に「入浴環境」の充実に力を入れました。広々とした脱衣室や安全性に配慮した浴室設計に加え、移乗動作に不安のある方にも配慮した入浴機器を導入。患者さんからも「安心して入浴できる」とのお声をいただいています。今回は、その新しい入浴環境を中心にご紹介します。

“またがない入浴”を実現した新しい浴室設備

今回新設された浴室では、「安全で快適な入浴」を大切なテーマとして整備を行いました。浴室にはヒーターを完備し、温度差による身体への負担にも配慮。暖色系の色合いを取り入れた空間設計により、温かみを感じながらリラックスできる浴室となっています。さらに、新たに導入した入浴機器「ボランテエコ」は、浴槽をまたぐ必要がなく、そのまま安全に浴槽へ移動できることが大きな特徴です。立ち上がりや跨ぎ動作に不安のある患者さんでも、安心して入浴していただける環境づくりにつながっています。実際にご利用いただいている患者さんからも、「安心してお風呂に入れる」「雰囲気良くリラックスできる」といった声をいただいております。療養生活の質向上にもつながっています。

入浴機器
「ボランテエコ」



安心して利用できる、広々とした脱衣空間

新設された脱衣室では、患者さんが少しでも安心して利用できるよう、安全性と快適性の両立を目指しました。床材には滑りにくい素材を採用し、転倒リスクに配慮。さらに、明るく落ち着いた空間づくりを行うことで、リラックスしてご利用いただける環境を整えています。また、車椅子をご利用の患者さんにも配慮し、可能な限り広いスペースを確保。介助を必要とされる方も、安心して入浴前後の時間を過ごしていただけるよう工夫しています。

脱衣室



質の高いリハビリを支える 研修スペースも整備

今回の増築では、職員専用フロアとして新たな研修スペースも整備しました。当院には約160名のリハビリ専門職が在籍しており、脳卒中・心臓リハビリテーションなど各専門領域に精通したスタッフが日々研鑽を重ねています。この研修スペースでは、勉強会や研修を通じて専門性向上を図り、患者さん・ご家族へより質の高いサービスを提供できる体制づくりを進めています。



研修スペース

地域の皆さまに“下リハがあって良かった” と思っただけの病院へ

現在、増築部分だけでなく院内改装工事も進行しており、2027年4月にすべての工事が完成予定です。下関リハビリテーション病院では、今後も患者さんに安心して療養いただける環境整備を進めるとともに、地域の医療・介護連携に貢献できる病院づくりを続けてまいります。



下関リハビリテーション病院